

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤秀樹	法人・事業所の特徴	利用者様が住み慣れた地域と環境で生き生きと、その方らしい生活が継続できるように通い・訪問・宿泊のサービスを組み合わせ、柔軟な対応を心掛けている。
事業所名	あったかほ一む下野堂	管理者	五十嵐亮		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価でまとめた改善策を次回までに行えるよう職員間で周知徹底していく。	コロナ禍で制限される事が多く計画通り行えない事が多々あった。室内での余暇活動を充実させ、イベントに力を入れた。		前回同様に事業所自己評価でまとめた改善策を次回までに行えるよう職員間で周知徹底していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	環境整備を行い、来年度は運営推進会議時に行事計画し見学して頂ける機会を作る。	環境整備として表を作成し日々清掃の習慣化を図った。運営推進会議がコロナ禍で開催出来ず。		来年度はコロナの状況を見て運営推進会議を開催し、環境整備も引き続き行い、環境衛生に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	地域資源の活用をしながら事業所の宣伝も行っていく。	コロナ禍であり、地域資源の活用にも制限があったが感染対策を講じながら地域のイベントや高齢者サロンにて事業所の宣伝も行えた。		市や包括等の活動に協力・連携する事で地域の方に対して事業所の事や福祉の事について知ってもらえる機会を作っていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	自治会の行事等に参加しご利用者以外の方々との交流を図り、事業所を知って頂く。また、どんな方々が地域に住んでいるかの把握を地域と連携を図りながらしていく。	コロナにより、交流の機会が以前に比べて減ってしまったが、行政と連携したアルツハイマー月間のイベントや高齢者サロンでの活動の中で事業所のPRを行った。		行政や地域包括からの紹介も増えてきているので、困難事例の経験も重ね事業所単力で成長できるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	地域の中で心配な方や困っている方はいないのか、会議中で確認していく。困りごとや事例があれば意見交換や検討をしていく。	コロナ禍で運営推進会議の開催が出来なかったので意見をFAX等で回収しているが、対面ではないので意見の収集が難しい。		書面開催しているので書面を活用しアンケート等で情報収集するなど工夫していく。

F. 事業所の 防災・災害対策	今年度に事業所の避難訓練に運営推進会議の方々が出席できるよう計ろう。又、地域の防災訓練にも参加できるよう情報収集を行う。	今年より災害避難訓練も実施している。コロナ禍で外部の方と開催は難しかった。		備蓄の食料・日用品等を定期的に確認し非常時に備える。災害に対する意識を高める為、内部でも研修を検討していく。
--------------------	--	---------------------------------------	--	--